

リーディング経営体育成のための 「キャベツ」収益力アップ研修会 開催要領

1 目的

キャベツは、消費量が多く、特に需要が拡大している加工業務用では、新たな産地の育成が強く求められている。

また、生産面においては、①水田での機械化一貫体系が確立していること、②作型（春まき、夏まき、秋まき）を組合せて長期出荷が可能であること、③ほ場での簡易な選別（加工用）でよく、選別施設が不要であること、④栽培期間が短く、大麦やたまねぎ等との輪作により、農地の高度利用が可能であることといった特長があり、県では「キャベツ」を水田園芸拡大品目として位置付け、生産の振興を図っている。

本研修会では、稼げる経営体のモデルとなって産地をけん引するリーディング経営体を育成するため、「キャベツ」の安定生産のポイントと肥料コストの低減対策について研修するとともに、本県産キャベツに対する実需者ニーズやキャベツを中心に高い収益を上げている優良経営体を紹介することで、「キャベツ」の生産拡大を図る。

2 主催 富山県園芸振興推進協議会

3 協賛 富山県野菜協会

4 日時 令和7年6月24日（火）13:30～16:00

5 場所 座学研修 なのはな農業協同組合水橋支店（富山市水橋肘崎 400-2）2階研修室
現地研修 農事組合法人 高島営農 春まきキャベツほ場（富山市高島）

6 日程

時間	内 容
13:15～13:30	受付 なのはな農業協同組合水橋支店 2階研修室
13:30～15:00	（1）座学研修 ・ 作型を組合せたキャベツ長期出荷体系の導入メリットと作型ごとの安定生産のポイント ・ 肥料コスト低減技術の導入による収益力向上対策 県農業技術課広域普及指導センター副主幹普及指導員 多田 季史 ・ キャベツの需給動向と実需者ニーズに対応した出荷体制について 全農富山県本部米穀園芸部園芸農産課課長代理 吉田 泰士 氏 ・ キャベツの導入支援策について 県農産食品課園芸振興係 技師 中永 悠貴
15:00～15:15	移動（貸し切りバス）
15:15～15:45	（2）現地研修 （農）高島営農※ キャベツほ場 ・ 春まき初夏どりキャベツ（加工用）ほ場視察 ・ 作型を組合せたキャベツの長期出荷の取組み
15:45～16:00	移動（貸し切りバス）
16:00	閉会・解散 なのはな農業協同組合水橋支店

※（農）高島営農：キャベツ収穫機等、機械化一貫体系を導入し、加工用キャベツ（夏まき秋どり）の大規模栽培に取組むとともに、若手専従者の設置を契機として、春まき初夏どりや夏まき冬どり等、新たな作型にも取組む。

- 7 参集範囲 キャベツ生産者、キャベツの導入意向がある生産者、リーディング経営体・リーディング経営体候補、JA、全農、市町村、県（30名程度）等
- 8 その他 本研修会は、県農業経営課主催の「経営力アップのための園芸塾」と同時開催となります。